

議会レポート 15

住所：千代田区九段南1-2-1 千代田区役所7階 発行：千代田区議会 自由民主党

千代田区議会
令和二年
第二回定例会
(後編)

一般質問

コロナ時代の食育のあり方



池田ともり

一般質問

感染症に対する
情報発信について



永田壮一

一般質問

コロナ禍における区の対応について



たかざわ秀行

一般質問特集

一般質問


罹患したひとり親世帯の
乳幼児への対応について
自粛中の保育料等の
減額措置について
乳幼児ワクチン接種等の
無料延長措置について



西岡めぐみ

一般質問

ポストコロナ社会の
地域コミュニティ活性化の
在り方



うがい友義

一般質問

新たな感染症対策の
地域防災計画への反映と
複合災害への備えについて



桜井ただし



発言台にアクリル板を設置



小林たかや



小林やすお



河合良郎



嶋崎秀彦



林 則行



はやお恭一



内田直之



山田丈夫

皆様のご意見をお聞かせください。

〒102-8688
千代田区九段南1-2-1 千代田区役所7階

電話 03-5211-4320
FAX 03-5275-6882

千代田区議会 自由民主党



一般質問

池田ともものり

所属委員会

地域文教委員会

災害時要配慮者等対策特別委員会

オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

こちらの
QRコードで
発言動画を
ご覧になれます



| コロナ時代の食育のあり方について

問：こどもから高齢者までどの世代でも今までとは異なるコロナ時代における食生活のあり方、栄養バランスなど食事の質も改めて検討、見直す機会ではないか。

答弁：区の HP で「食育レシピ本ちよだて」等を通じた周知や、バランスのよい食事を提供する飲食店など変化に応じた食生活の工夫などを商工観光課等と連携しながら発信に努める。

| 食品ロス削減の推進について

問：新型コロナウイルスの感染影響により生産者から消費者まで食に関する様々な環境で心配される事例が生じている。区では商店街との間にごみ減量を含んだ協定を結んでいるが、消費者や小売店に向けた食品ロス削減についてもその中に盛り込んでどうか。また区内の民間企業とも連携を図り、千代田区独自の食品ロス削減の推進に取り組むべきではないか。

答弁：昨年 10 月の「食品ロス削減推進法」の施行を受け、取り組みを一層推進していく。商店街との協定については社会経済状況を考慮しながら、商店街と調整していく。

| 食育専門組織の設置について

問：これまでも食に関する様々な課題について取り組みや考えを聞いてきた。庁内での食に対する意識を高めるためにも専門の組織を設置することが必要ではないか。

答弁：一括した専門組織がないのが現状、庁内として課題として受け止める。

詳しくは、千代田区議会ホームページ <https://gikai-chiyoda-tokyo.jp/>

| 感染症に対する情報発信について

問：中国は新型感染症の情報を隠蔽したとして世界中から非難され、米では発生源を記憶に残すため武漢コロナと呼んでいる。我が国の新型コロナ対策では各機関や報道が根拠不明なデータや分かり難い横文字で過剰に不安を煽った。毎年インフルエンザと関連する肺炎の死亡者は年間 1 万人程だが新型コロナは千人弱である。今後は公共交通機関や密閉空間でのマスク着用、何かに触れたら手を洗うまで顔に触れない習慣の徹底を新しい生活様式として、早く日常生活に戻すべきだ。区には様々な情報を分析し正確に発信することで混乱のないように努め、区民の意見を集め反映させる広報広聴の充実を求める。

答弁：感染症関連の情報は多岐にわたり必要な情報の入手に戸惑う状況があった。新型コロナ関連で寄せられた区民の声は通常時の 5 倍、月間約 250 件に及んだ。各部では情報の収集、活用を組織全体の課題として捉え、情報共有を図り、区民の意見を施策に反映できる広報広聴機能の強化に努める。



一般質問

永田壮一

所属委員会

地域文教委員会

オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

文化財保護・活用特別委員会

こちらの
QRコードで
発言動画を
ご覧になれます



詳しくは、千代田区議会ホームページ <https://gikai-chiyoda-tokyo.jp/>

コロナ禍における区の対応について

問：新型コロナウイルスが世界的に流行している。我が国も緊急事態宣言こそ解除されたが、東京をはじめ、日々感染者が出ている。これから災害の季節を迎え震災も心配される。複合災害時の避難所対応は、ペットとの非難も視野に対応を考えておくべき。

答弁：ペットの対応は、東京都獣医師会と協定を締結し、地域防災計画にも定めている。避難所の衛生環境を確保し、在宅避難、区有施設、民間施設を含め分散避難に向けた対応を進めている。

問：感染症防止のため、各種イベント、会合など自粛となり、かがやきプラザや区民間などの施設も閉鎖された。介護施設は事業者の努力により開いているが、自粛により高齢者の精神面含め健康が心配される。どのようなケアがされているか。

答弁：体力の低下を防ぎ、フレイル状態にならぬよう働きかけている。ICTに慣れ親しんでもらう機会を設け、それを活用した事業実施など検討している。また、参加者同士が連絡を取り合い、お互いの様子を確認しあえるよう介護予防事業、いきいきリーダーとの連携を図り地域での関係づくりを支援していく。介護施設では面会ができないがオンラインでの面会、写真を送るなどで家族に安心していただけるよう努力している。

問：外濠公園総合グラウンドの通年利用の実現に向けた今後の具体的な整備計画を。

答弁：整備に当たり、越えなければいけない課題は山積しているが、来年度は土壌調査に伴う課題を踏まえた上でどのような整備ができるのか、まずは調査・検討を行い、通年利用へとつながる整備に向け、鋭意取り組んでいく。

詳しくは、千代田区議会ホームページ <https://gikai-chiyoda-tokyo.jp/>



一般質問

たかざわ秀行

所属委員会

地域文教委員会

文化財保存・活用特別委員会

オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

こちらの
QRコードで
発言動画を
ご覧になれます



罹患したひとり親世帯の乳幼児への対応について

問：乳幼児と自宅療養を選択した場合、外出が出来ない2週間相当の生活必需品を行政としてご家庭へ配布する等の配慮をし、宿泊施設選択の場合、部屋の広さや乳幼児に応じた部屋割をする等、柔軟な対応を求める。乳児院、ショートステイ等の充実や近隣区との連携を至急求める。

答弁：個々のご家庭の事情や緊急性に照らし、不安や心配に寄り添い個別支援を行う。

自粛中の保育料等の減額措置について

問：登園分を差引いて日割り計算、又は別月で充当等、保護者の出費負担を、極力、軽減出来る様、減額措置を継続して対応すべき。

答弁：日割り計算は社会状況を勘案しつつ、9月頃迄継続予定。

乳幼児ワクチン接種等の無料延長措置について

問：コロナ禍で病院へ行く事を躊躇し「受診控え」をしている保護者の現状を鑑み、事前配布の定期予防接種予診票（乳幼児ワクチン接種・無料チケット）について、適齢外でも影響のないワクチン接種に於いては、柔軟に無料期間を延長すべき。乳幼児健診は還付可能となったが、ワクチン接種も同様に、既に期間外で料金が発生した方への還付、予診票の無料延長措置を強く求める。

答弁：議員提案の通り、無料延長する。本年3月19日以降より、接種期間末日を2年延長し、延長措置開始日前日迄のワクチン接種した費用も還付する。高齢者肺炎球菌ワクチン接種は1年無料延長とする。



一般質問

西岡めぐみ

所属委員会

地域文教委員会

オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

文化財保護・活用特別委員会

こちらの
QRコードで
発言動画を
ご覧になれます



詳しくは、千代田区議会ホームページ <https://gikai-chiyoda-tokyo.jp/>

ポストコロナ社会の地域コミュニティ 活性化の在り方

問：地域コミュニティー・町会活動において「新しい日常」でのコミュニティーデザインとその活性化の為に、どのような道筋を取ろうとされているのか、見解をお聞かせください。

答弁：新型コロナウイルス感染拡大によって、これまでのフェイス・トゥ・フェイスの交流を軸とした地域コミュニティー活動は、縮小せざるを得ない状況となり、町会活動を中心とした地域のつながりの希薄化が進んでいくのではないかと懸念されています。

また、外出自粛が要請される中、ICT を活用したコミュニケーション手法がこれまで以上に活用されるようになり、今後は地域コミュニケーションの在り方にも大きく影響してくるのではないかと考えられます。こうした変化の中で、議員御指摘の「新しい日常でのコミュニティーデザイン」を描いていく必要があります。

現時点で、これからの生活様式や社会構造の変革を具体的に想定してコミュニティーデザインを描くことは困難ではありますが、人と人との触れ合いの中で培われる地域活動と、オンラインなどによる新たな地域活動等をどのように融和させていくかということが、一つの視点になるのではないかと考えています。

今後も町会や地域コミュニティーの重要性に変わりはなく、「ちよだコミュニティーラボライブ」なども活用しながら、地域の皆様と共に幅広い視点に立って、新たな日常での地域コミュニティーについて考えていきたいと思っております。



一般質問

うがい友義

所属委員会

企画総務委員会
景観・まちづくり特別委員会
文化財保存・活用特別委員会

こちらの
QRコードで
発言動画を
ご覧になれます



詳しくは、千代田区議会ホームページ <https://gikai-chiyoda-tokyo.jp/>

新たな感染症対策の地域防災計画への 反映と複合災害への備えについて

問：本区では地震被害や土砂災害、河川の氾濫などあらゆる災害の教訓を踏まえ地域防災計画を修正してきた。新型コロナウイルスが蔓延する中、感染症という目に見えない脅威に対して様々な点で対応が求められている。3密を避け自主避難の判断基準にも影響するなど区民の皆様には新たな判断と周知が必要となっている。新たな感染症対策を地域防災計画に反映させる必要があると思うがどうか。又、複合災害時の避難所の在り方について問う。

答弁：新しい生活様式の上に災害対策基本法などが議論され改正等がなされた際には適切に反映をさせる。複合災害を考慮した避難所の在り方については区民自らが適切な判断ができるよう日頃より支援していくことが最も重要。区民の皆様に向けて災害時の避難に関して感染対策を踏まえた行動が重要であることの適切な情報発信を図る。

この他①本区のG I G Aスクール構想等について

②飲食店、商店会支援事業について

③ビルテナント業を営む区民オーナーへの家賃減額分の補填について質問しました。



一般質問

桜井ただし

所属委員会

企画総務委員会
景観・まちづくり特別委員会
災害時要配慮者等対策特別委員会

こちらの
QRコードで
発言動画を
ご覧になれます



詳しくは、千代田区議会ホームページ <https://gikai-chiyoda-tokyo.jp/>